

# 仙台育英学園 同窓会会報

発行所 仙台育英学園同窓会  
〒983-0045 仙台市宮城野区一宮城野二丁目4-1  
TEL. 022-256-4141  
編集 仙台育英学園  
発行人 同窓会事務局  
印刷所 本 印刷株式会社  
TEL. 022-288-5231

母校仙台育英学園の発展に寄与することを目的としております。日ごろ、同窓会活動に深いご理解と協力をいただき、心から

。今回は昨年八月の出来事ではありますが、特筆すべきことを述べさせていただきます。同窓諸兄弟の皆様にはまだまだ記憶が鮮明であると思いますが、第百四回全国高等学校野球選手権大会で東北勢初の全国優勝を成し遂げたことであります。選手諸君の健闘は勿論のこと、須江監督の采配も見事でありました。今更ながら悲願の「白河の関越え」と大々的に報道されましたが、「白河の関越え」とは、これまで一度も甲子園での優勝がない東北勢の悲願を表す言葉になっていました。「白河の関」は、江戸時代の俳人松尾芭蕉がみちのく路への第一歩を踏み出した思いを込めて「白河の関にかかりて 旅心定まりぬ」と詠んだといひ、古くから東北の玄関口として認識されていたようですが、高校野球でいつから使われ始めたかは定かでないといわれています。冬は寒く野球をやるのに厳しい東北に優勝旗が関所をなかなか通してもらえないというイメージが定着した

が、仙台育英硬式野球部がその悲願を叶えたことは「あっぱれ」と讃えたいと思います。母校においては、令和五年四月十二日に仙台育英学園沖繩高等学校の「開校式」ならびに「第一回入学式」が新入生三十六名迎え盛大に挙行されました。本校では、四月五日に秀光中学校が新設されて三年目の入学式が挙行され、新たに秀光生として五十六名の新入生を迎えました。秀光の前身から数えて二十八期生となります。また、四月七日に仙台育英学園高等学校の入学式が挙行され、一、二〇二名の新入生が仙台育英生として学園生活をスタートさせました。母校の現況、後輩の進路状況等については、学園のホームページをご覧になって頂きたいと存じます。

## 百四年目の快挙



仙台育英学園同窓会  
会長 瀬戸 信男

盛夏の候、同窓諸兄弟の皆様におかれましては、益々ご健勝でお過ごしのことと存じます。同窓会は、同じ学園生活を送った卒業生が、世代を超えて縦横に結びつき、会員相互の親睦と

感謝申し上げます。さて、新型コロナウイルスの対処法が令和五年になっては大きく変わりました。まず、マスクの着用が三月十三日以降原則として、個人の判断に委ねられることになりました。ただし、医療機関への受診や高齢者施設への訪問時など、感染防止対策にマスクが効果的な場面もあるとしています。また、感染防止上の分類が五月八日から、季節性インフルエンザと同じ「五類」に引き下げられました。しかし、全てがコロナ以前の日常生活に戻ったわけではありません。これまで通りの感染予防を講じることが必要ではないかと思いま

と学習指導要領に規定した教育課程を履修する。(5)東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構の河崎実之教授が指導するSDP(持続可能な農学プロジェクト)を展開し、安全で安心なレタスを需要に応じて生産し、宮城野校舎ロースホールおよび多賀城校舎レオホール・北辰館食堂で生徒たちの食環境を充実させる。(6)会津飯盛山に創立八十八周年記念事業として建立した創立者加藤利吉先生の顕彰碑と合わせて二〇〇五年五月二十二日の飲酒運転事故犠牲者三名の御霊を祀る交通安全地蔵尊を移築し、新入生はじめこの校舎を訪れる

最後にありますが、加藤雄彦理事長・校長先生はじめ、諸先生方並びに会員皆様のご健勝とご多幸、母校の益々のご発展を祈念して挨拶いたします。

## 創立者加藤利吉先生の顕彰碑



学校法人仙台育英学園  
理事長 加藤 雄彦  
校長

梅雨の合間の静寂な夜、鱒淵川に浮かび上がるホタルの光は幽玄な趣を漂わせてくれます。源氏

ただきたい思いで「蛍雪」を採用しました。さらに登米市内でも東和町の歴史は古く、特に鱒淵地区には大同二年(八〇七年)建立された竹峰山華足寺(けそくじ)があります。当時、坂上田村麻呂が奥州征討で戦死した兵馬の御霊を慰めるため、馬頭観世菩薩を納めたと伝わっています。その後も仙台藩伊達家の歴代藩主により寄進があり、地区全体に霊験あらたかな雰囲気を感じられます。この校舎では次の六つのことを重点目標として

と学習指導要領に規定した教育課程を履修する。(5)東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構の河崎実之教授が指導するSDP(持続可能な農学プロジェクト)を展開し、安全で安心なレタスを需要に応じて生産し、宮城野校舎ロースホールおよび多賀城校舎レオホール・北辰館食堂で生徒たちの食環境を充実させる。(6)会津飯盛山に創立八十八周年記念事業として建立した創立者加藤利吉先生の顕彰碑と合わせて二〇〇五年五月二十二日の飲酒運転事故犠牲者三名の御霊を祀る交通安全地蔵尊を移築し、新入生はじめこの校舎を訪れる

人々が飲酒運転根絶を誓う場とする。移築費は同窓会の善意の寄付により完了したことをお伝えすると共にご奉仕くださいました関係各位にこの場をお借りして御礼申し上げます。結びになりますが、東日本大震災により甚大な被害を受けた宮城野校舎は、十年経過しました。現在は秀光中学校・仙台育英学園高等学校秀光コース・特別進学コース・情報科学コースそして広域通信制課程「H」の宮城の生徒たちが学園生活を過ごしています。これまでも生徒の保護者の負担が過度にならないよう学納金を抑制しながら教育活動を行っていますが、未だ三十億円を超える残債を抱えており、同窓生各位の寄付によるご支援を継続してお願いいたします。なお、寄付金の税額控除につきましては宮城野校舎法人局までお問い合わせください。

昨年登米市より譲り受けました。東和町の木材を惜しみなく活用した校舎は、東日本大震災で津波被害を受けた南三陸の人々の避難場所として一時的に利用されたこともあったようですが、廃校状態であったところを仙台育英学園高等学校東和雪校舎と命名し、昨年春から在校生の第三の学び舎としました。

(1)新入生が建学精神や校歌の意味を学び、先輩たちが母校に残してくれた栄光の軌跡を学習する。(2)地域の伝統食「ハット汁」を地元の方々のご指導を受けながら調理し味を堪能し、東和町鱒淵が生んだ偉人及川甚三郎の足跡を探索する。(3)同氏と創立者加藤利吉先生との親和性を考察し、明治時代の日本に思いを馳せながら、人を大切にする至誠の心を体得する。(4)インドネシア女子留学生(十七歳〜十八歳)が介護福祉士取得に必要な日本語能力の向上

が、仙台育英硬式野球部がその悲願を叶えたことは「あっぱれ」と讃えたいと思います。母校においては、令和五年四月十二日に仙台育英学園沖繩高等学校の「開校式」ならびに「第一回入学式」が新入生三十六名迎え盛大に挙行されました。本校では、四月五日に秀光中学校が新設されて三年目の入学式が挙行され、新たに秀光生として五十六名の新入生を迎えました。秀光の前身から数えて二十八期生となります。また、四月七日に仙台育英学園高等学校の入学式が挙行され、一、二〇二名の新入生が仙台育英生として学園生活をスタートさせました。母校の現況、後輩の進路状況等については、学園のホームページをご覧になって頂きたいと存じます。

最後にありますが、加藤雄彦理事長・校長先生はじめ、諸先生方並びに会員皆様のご健勝とご多幸、母校の益々のご発展を祈念して挨拶いたします。

東和雪校舎の名前の由来は、創立者加藤利吉先生が貧乏と向き合いながら四書五経はじめ英語学を独学した青年期をみなさんにも振り返って

にすることと存じます。また、感染防止上の分類が五月八日から、季節性インフルエンザと同じ「五類」に引き下げられました。しかし、全てがコロナ以前の日常生活に戻ったわけではありません。これまで通りの感染予防を講じることが必要ではないかと思いま

と学習指導要領に規定した教育課程を履修する。(5)東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構の河崎実之教授が指導するSDP(持続可能な農学プロジェクト)を展開し、安全で安心なレタスを需要に応じて生産し、宮城野校舎ロースホールおよび多賀城校舎レオホール・北辰館食堂で生徒たちの食環境を充実させる。(6)会津飯盛山に創立八十八周年記念事業として建立した創立者加藤利吉先生の顕彰碑と合わせて二〇〇五年五月二十二日の飲酒運転事故犠牲者三名の御霊を祀る交通安全地蔵尊を移築し、新入生はじめこの校舎を訪れる

最後にありますが、加藤雄彦理事長・校長先生はじめ、諸先生方並びに会員皆様のご健勝とご多幸、母校の益々のご発展を祈念して挨拶いたします。



# 南の島の仙台育英学園

学校法人仙台育英学園  
仙台育英学園沖繩高等学校

常務理事  
校長 加藤 聖一

はいさい！くすーよーちゅーうがなびら！（こんにちは！皆さん！ご機嫌いかがですか？）

仙台育英学園沖繩高等学校長の加藤聖一です。冒頭よりうちなーぐち（沖縄弁）にてご挨拶申し上げますが、仙台育英学園沖繩高等学校（以下、沖繩高校）の二〇二三年四月開校に伴い宮城県より沖繩県へ一家転住をし、少しずつではありますが現地適応しております。この沖繩高校の設置は、仙



台育英学園の一八八年の歴史上、創立の地である宮城県を離れて全日制課程の学校を設置した初めての挑戦です。その初代校長として本学園の新たな歴史を紡ぐ機会をいただき、光栄に存じます。

さて、沖繩高校の設立背景は、理事長 加藤 雄彦 先生が折に触れてお話されておりますように東日本大震災と「〇〇沖繩」の設置にありますが、本稿では仙台育英学園の新たな仲間として加わった沖繩高校の目指す姿をご紹介します。

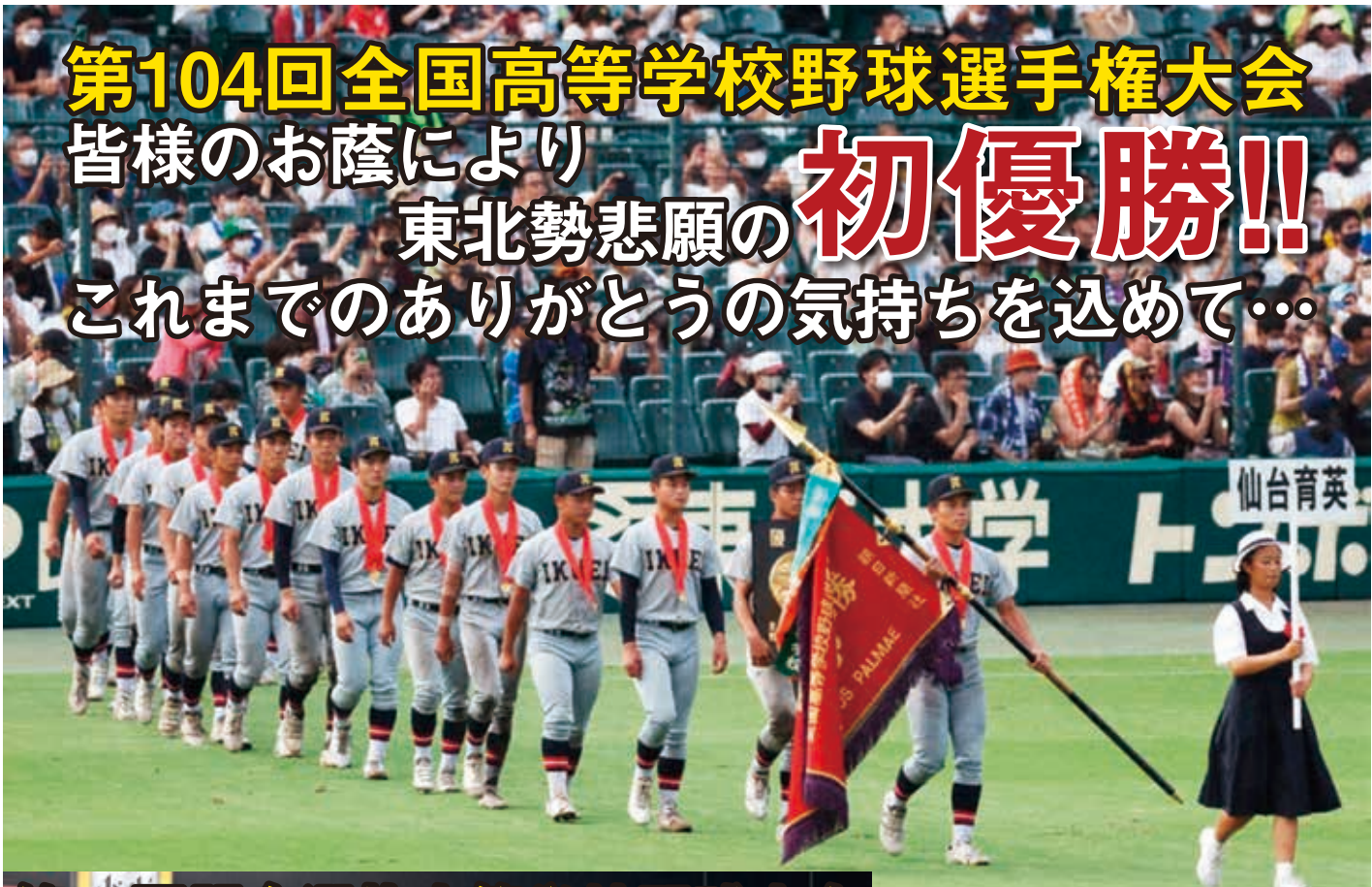
沖繩高校の所在する沖繩県は、合計特殊出生率（二〇二二年：一・七）や人口増加率（二〇二〇年：二・二・四増加）が全国平均の合計特殊出生率（二〇二二年：一・二六）や人口増加率（二〇二〇年：〇・七減少）を大きく上回るものの、高校中途退学率が全国平均と比べて約一・八倍高く、また、小・中学校、高校とも不登校児童生徒の割合が全国平均より一・二〜一・八倍高いといった教育課題があります。加えて、一人当たりの県民所得は二四一万円（二〇一九年）で、全国平均の三一七万円（二〇一九年）を下回り、高校卒業後に就職した場合の三年以内離職率は五十三・二%（二〇二〇年）と全国平均の三九・五%を大きく上回るといった就業課題もあります。琉球大学名誉教授である大城 肇 先生は「県内のおカネの少なくとも二〜四割が県外へ漏れ出ている」と地場産業の弱さがその一因になっていることを指摘し、県外の外貨獲得と県内の産業分野を広げて県内自給率を高めることを解決策に挙げています。

このような背景がある中、沖繩高校は「生活信条七箇条に則り現在と将来の自立を目指し、情報技術によって生まれる新しい絆を育む ICT エンジニアの育成」を教育目標に掲げ、うちなー（沖繩）を愛する卒業生が県外からの収入獲得を各産業での DX（デジタルトランスフォーメーション）を通じてできる姿を目指しています。このために在学中

は自立を助ける「〇」スキルとその「〇」スキルを生涯にわたって学び続ける上で基盤となる「学びに向かう力」を育み、起業を視野に入れた自立したキャリア観を持てるように働きかけます。これらを支える教育施策の多くは秀光中学校・仙台育英学園高等学校がこれまでに先進的に取り入れてきた教育施策を沖繩の実態に合わせて応用しているもので、同窓会の皆様の軌跡の結集によるものです。

沖繩高校は、仙台育英学園が育んできた建学精神と「逆転の仙台育英」の精神を沖繩の地で継承し、教育課題・就業課題やそれらと関連する貧困問題等からの「逆転」にむけ、歩み始めます。同窓会の皆様におかれましては、兄弟校となった沖繩高校の教育活動へのご理解・ご協力と、新たな後輩へのご支援のほど宜しくお願い申し上げます。





**第104回全国高等学校野球選手権大会**  
 皆様のお蔭により  
 東北勢悲願の**初優勝!!**  
 これまでのありがとうの気持ちを込めて…



**第95回記念選抜高等学校野球大会**

**惜敗のベスト8!!**



そして…  
**第105回全国高等学校野球選手権記念大会へ**  
**新たな夢を目指して!!**

同窓会支部報告

東京支部

昭和四十二年卒  
支部長 末永 佑己

第四十一回東京支部総会



令和四年十一月二十七日(日)中央区銀座六丁目ダイワ銀座ビル地下二階(泰明小学校向い)の「レストランフォー」エタニティにおいて三年振りに第四十一回東京支部総会・懇親会が開催されました。ご多忙の中、校長先生、庄子賢一衆議院議員が出席され学校の近況等および議員活動等を紹介していただきました。新型コロナウイルス禍でもあり自粛を考えたが、念願の硬式野球部の夏の甲子園大会での優勝もあり、新型コロナウイルスの第七波の感染者が減少しつつありましたので、支部会員と共に喜びを分かち合いたいと思ひ開催に踏み切りました。例年会場としていました新宿野村ビル四十八階「デユーク」が会場として使用出来なくなり、且つ、会費を安価にするため会場探しに苦慮しました。懇親会では、念願の甲子園大会優勝を参加者全員で分かち合いながら和やかな雰囲気での活発な活躍と今後の活発な活動を深めていきました。残念ながら、コロナ禍の三年間にお亡くなりの方、体調不良の方が増加し支部総会への参加者が減少しているのが残念です。幹事一同、総会・懇親会

の継続開催に尽力します。よりよしくお願いいたします。



岩沼支部

昭和四十八年卒  
副支部長 安藤 利夫



同窓生の皆様、コロナが未だ終息せず、何かと落ち着かない日々が続いておられますところ、岩沼支部活動にご支援をいただき御礼申し上げます。岩沼支部の代表部長が、育英の甲子園優勝の歓喜を見届けた後お亡くなりになりましたことをまずご報告いたします。総会、役員会の会合も制限される中、副支部長、布田事務局長を中心になんとし、更なる支部活動の充実をはかるべく奮闘しているところ。今年度の総会は中止といたします。会員の皆様は竹駒の大神のご加護をお祈りいたします。

三島学園支部

昭和四十七年卒  
支部長 後藤 固



三島学園支部会は他支部と同様コロナ禍の中で、支

部会を開催できない状況です。今年八月に開催する予定であります。本会は前同窓会長の小坂信雄先生をはじめ少人数であります。年に二回支部会を開き懇親の場を設けております。

最近の支部の活動では、常に同窓会長の瀬戸先生、副会長の今野先生をお招きして、育英学園の様子を拝聴し、また、同窓会支部のあり方について、ご指導ご助言を頂いております。昨年度は硬式野球部の全国優勝、優勝旗の白河越えが達成され、支部会員一同がただただ喜び合ひ、その余韻が続いており、あらためて育英の同窓生であることに誇りを感じております。

硬式野球部OB会

昭和五十五年卒  
副会長 中山 喜徳



末筆になりましたが、これからは支部会員一丸となつて、同窓会、そして育英学園のさらなる発展を祈念し、いつまでも応援団であることを自負して参ります。同窓会の皆様は、誠にありがとうございます。是非応援をよろしくお願ひ申し上げ、また一緒に感動を分かち合ひましょう。参考：今後のスケジュール  
七月上旬 第一〇五回全国高等学校野球選手権宮城大会 激励  
八月上旬 第一〇五回全国高等学校野球選手権大会 激励  
十二月上旬 三年生OB会加入説明会、野球教室  
一月下旬 OB会総会

第二十七回 杜の都中学校選抜剣道大会報告

七月八日(土)に第四回杜の都中学校錬成会(練習試合)・岩沼市総合体育館で開催

七月九日(日)に第二十七回杜の都中学校選抜剣道大会、仙台育英学園高等学校多賀城校舎グロリーホールで行われました。今大会はコロナウイルスの感染防止のため大会の中止が余儀なくされ四年ぶりの開催となりました。男子四十八チーム・女子三十二チーム(総勢四百六十二名)の参加となり中体連県大会に焦点を合わせ一回戦よりレベルの高い技と迫力のある試合が繰り広げられました。

開会式終了後、新体制となった仙台育英学園剣道部男女一・二年生が稽古を披露しスピード感溢れる充実した稽古風景となりました。



- 男子優勝 新針道場 (新潟)
  - 第二位 第一好会 (新潟)
  - 第三位 新針道場 (新潟)
  - 第三位 南小泉中学校 (宮城)
  - 女子優勝 聖ドミニコ学院 (宮城)
  - 第二位 新針道場 (新潟)
  - 第三位 天童第四中学校 (山形)
  - 第三位 大谷道場 (山形)
  - 蛇田中学校 (宮城)
- ◎大会結果は下記の通りとなりました。
- 報告者 事務局長 酒井 俊治
- 剣育会会長 千田 直樹

本部からのお知らせ  
同窓会総会のお知らせ  
八月二十六日(日) 十七時～懇親会  
場所：パレスへいあん  
※新型コロナウイルス対策のため、出席者の確認を取っております。  
出席希望の方は〇二二二二六八四一〇までお問い合わせください。



# 《同窓生からの寄稿文》



「うまい醬」創業者 昭和三十五年卒 上野 高正

私の高校時代の記憶と言えは、所属していた部活のレスリングに明け暮れる日々でした。

一番印象に残っているのは、高校二年生の時に経験した海外遠征です。

アメリカ・ワシントン州シアトルを訪れ、一ヶ月間対戦相手の家庭へホームステイをしました。

海外の空気に触れ、人生初めてのアメリカにカルチャーショックを受けたのを今でも覚えていいます。

特に強烈に記憶に残っているのは、車の運転について。

日本ではまだ整備も行き届いていないような狭い道路を車が走っていたの compared to 比べ、何車線も車が行き交う広い道路。

日本とは違い、高校一年生で車の免許を取得出来る法律。

当時は先生立会いの元、学校の周りを車で二周するだけで免許が取れたそうです。

学生達が当たり前前に車で通学する事だけでも驚きま

したが、更に男子生徒達はガールフレンドの家に彼女を迎えに行つてから学校に登校する。

その様子を目の当たりにして衝撃を受けたのを覚えていいます。

今でこそ検索すれば何でも情報が溢れている時代ですが、当時は映画や海外ドラマなども身近ではなかった時代ですので、日本にながらアメリカの生活や文化を知る術はありませんでした。

五十年前の当時十七歳の私には全てが新鮮で刺激的でした。

好奇心旺盛な私にとってこの時の出来事、経験は海外に目を向ける、海外に興味を持つ大きなきっかけになった事は間違いありません。

その後、高校卒業後に職人の道へと進む事になりましたが、日本食の代表である鮎文化、「本物の鮎を世界に広めたい!」という思いで海外出店にもチャレンジし、鮎を追いかけ世界中を飛び回りました。

これまで仕事でもプライベートでも沢山の国を訪れ、その国の人々や文化、食に触れ、今でも海外の魅力に魅了されています。

経営者として、商売をしていく上で、攻めの姿勢や勝負強さ、忍耐力と精神力はレスリングを通じて培

た基盤があったからだと感じております。

そして、世界では自分の常識や日本のルールが当たり前ではない事を知り、改めて日本の素晴らしさにも気付かされました。

日本人の時間に対する正確さは他国が真似出来ることではありません。

世界に目を向けながらも、「時間を守る」事は私が一番大切にしてきた事です。

四年前に会長職を退き、今では趣味のゴルフと旅行を楽しんでおります。

残された時間を有意義に使い、これからも世界中を旅しながらまだ見た事のない世界、まだ知らない世界を体感したいと思っております。

昭和四十一年四月に入學してから早五十六年になり、体育館での入學式でした。学校の大きさと生徒数の多さで不安が最高潮に達し、自分のクラスが解らず困惑したのを未だに覚えております。体育館の壁にクラス名と名前があり、A・Qまで一クラス六十名強あったと覚えております。

偶然にもクラスはAクラス小畑譲先生の担任【あいいうえお】の席順で座席が決まりました。後方から【先生！視力が弱いので前の座席に移動お願いします】と言う声があり自分の隣に席を移動してきたのが高砂中出身の瀬戸信男でした、現在の仙台育英学園の同窓会長なのです、人生最高の友であり、大の親友となり、三年間机は隣同士、クラスも担任も三年間同じ小畑先生でした。ここからの自分の人生観が変わり運命を感じたところでも勉強はもとより生活面においても彼の存在が大でした、商業科特有の【簿記】三年には受験簿記を叩き込まれたお陰で我がクラス二十数名が現役で東北学院大学に合格、学校始まって以来の快挙となりました。

あれから五十四年、今も

## 心の支え 仙台育英学園ここにあり!!



昭和四十四年卒 只野 由雄

昭和四十一年四月に入學してから早五十六年になり、体育館での入學式でした。学校の大きさと生徒数の多さで不安が最高潮に達し、自分のクラスが解らず困惑したのを未だに覚えております。体育館の壁にクラス名と名前があり、A・Qまで一クラス六十名強あったと覚えております。

偶然にもクラスはAクラス小畑譲先生の担任【あいいうえお】の席順で座席が決まりました。後方から【先生！視力が弱いので前の座席に移動お願いします】と言う声があり自分の隣に席を移動してきたのが高砂中出身の瀬戸信男でした、現在の仙台育英学園の同窓会長なのです、人生最高の友であり、大の親友となり、三年間机は隣同士、クラスも担任も三年間同じ小畑先生でした。ここからの自分の人生観が変わり運命を感じたところでも勉強はもとより生活面においても彼の存在が大でした、商業科特有の【簿記】三年には受験簿記を叩き込まれたお陰で我がクラス二十数名が現役で東北学院大学に合格、学校始まって以来の快挙となりました。

あれから五十四年、今も

現在、活躍中の書道部 全国高等学校書道バ

トフォーミング大会二連覇・書道甲子園において、全国優勝と目を見張るものがあります。

先日書道部にお邪魔させて頂き、各自目標を持ち必死に筆を走らせ目目の輝の鋭いものを感じられました。

現在各方面で活躍中の渡辺章紀先生には「書の心」感じてきました。八月六日大和町で行われるまほろば夏まつりに出演を依頼、仙台育英学園の書道パフォーマンスを皆さんに見て頂きたく、このことが自分の出来て育英学園への恩返しと思っております。仙台育英学園ここにあり。

な

流が続いております。高校時代は野球の試合があるたび宮城球場に駆け出され校歌を力強く歌ったものでした。今は新聞・テレビに仙台育英の名前が出るのがウキウキしている今日この頃です、昨年一〇回全国高校野球選手権大会で悲願の白河越え深紅の大優勝旗とメダル手にした選手的笑容。涙を流しながら「南冥はるか天翔け」・・・の校歌を声高らかに歌い、凄く感激し、須江航監督の「青春とは凄く密なもので」この言葉は全世界の人々に通じる言葉です。須江監督の人間そのものです。新聞・冊子を買って求め自分の宝物にしています。栄光・南冥・北辰の校舎、それにプレハブ教室、今、以前の佇まいはなく宮城野校舎・多賀城校舎は高級ホテルを思わせる都会の中の素晴らしい校舎です。

私は小さい時から太鼓を習っており、また在校中、獅子太鼓部に所属していたこともきっかけで、現在、和太鼓アーティストグループ「Aoba」のメンバーとして、リーダーの高橋勲雄氏とサブリダーの高橋亮氏につき、日々活動をさせて頂いて居ります。

私は令和三年三月に高校を卒業し、現在の Aoba に所属させて頂く進路を選びました。卒業年次の担任は山田大先生で、コロナ禍ではありましたが、いつも笑顔で優しく指導頂いて居りました。

高校時代では部活動や学級活動などをとおし、いろいろな経験を積ませて頂き、顧問の杉田愛先生からは、時間の使い方や準備の大切さなど、多くの経験の中から気づかせて頂いた事、大変有難く思っております。

私はフレックスコースに所属していたため、他のコースの人たちよりも早く部活動に取り組むことができました。そこで、その間になをすすべきか・・・常に考えることができました。その事から、準備や個人練習など、より多くの時間を主體的に効果的に活用することができたものと思っております。よく「Time is

Money(時は金なり)」と言いますが、時間の大切さ、貴重さに気付けた事は、本当に有難い事だと感謝しております。

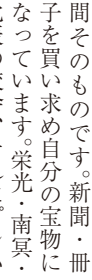
確かに高校一・二年の時あたりは、その事自体をそれほど大切なこととは感じず、ただ過ごした時もありました。時間は誰にでも平等に進みます。しかし、与えられた時間には限りがあります。そして、与えられた貴重な時間をどれだけ大切に充実させられるかは人それぞれである二年の中頃から私は思い始めました。それが建学の精神で言う「自治進取」や「至誠」に繋がるものではないかと今となって考えさせられております。

現在「Aoba」では充実した日々を送ることができております。人間国宝の津村禮次郎先生や元鼓童メンバーの方々、またソロアーティストの上北健さんなどから、大変有難いアドバイスを頂きながら、他では経験できない日々を過ごさせて頂いて居ります。

この日々は、仙台育英で、より良い結果を導き出せるように、時間を過ごし方からこそ気づけたよう学べたからこそ気づけております。今後、さらにより良い形を生み出せるよう、これからも「より良い積み重ね」を踏ん張って参りたく精進を重ねて参ります。もし、「Aoba」がお目に止まることがありましたら、応援頂きますと幸いです。

私

和令三年卒 土井 柁弥



私

和令三年卒

私

和令三年卒

私

和令三年卒

私

和令三年卒

私

# 夏の甲子園大会 第104回全国高等学校 野球選手権大会 協賛金協力者 (R4.8.1~R4.11.30)

ご協賛者 518名  
ご協賛金 4,457,700円

- S12 村上 敬次
- S18 藍田 耕
- S18 熱海 和作
- S20 鈴木 康
- S20 高橋 淳
- S27 小野 幸男
- S27 土田 亨
- S29 今野 仁
- S29 齋藤 久
- S29 柳井 庸彦
- S30 太田 宏
- S30 小畑 清嗣
- S30 片平 悖一
- S30 齋藤 真康
- S30 佐々木 巖
- S30 須藤 幸雄
- S30 高澤 嘉一
- S30 沼澤 寛
- S30 平井 賢三
- S31 剣持 丈治
- S31 小林 美恵
- S31 庄子 正佑
- S31 千尋 儀彦
- S31 東海林 重夫
- S31 戸引 久雄
- S31 村主 志郎
- S32 安達 晃
- S32 大友 邦夫
- S32 河村 威
- S32 佐藤 嘉正
- S32 白鳥多嘉夫
- S33 大友 松蔵
- S33 金山 昭
- S33 三野宮 毅
- S33 鈴木 莊市
- S33 鈴木 勝
- S33 沼倉 剛
- S33 松浦 正
- S33 水戸 武
- S33 村上 昇
- S34 阿久津英紀
- S34 角張 有孝
- S34 佐藤 勲
- S34 三浦 勝男
- S35 長田 文治
- S35 佐々木 敬
- S35 高須 彪
- S35 高橋 松力
- S35 村山 繁
- S36 安達 隆
- S36 藤村 武男
- S36 村上 光男
- S37 佐藤 靖夫
- S37 鈴木 茂
- S37 富田 義雄
- S37 森 保男
- S38 加藤 功一
- S38 佐々木俊一
- S38 佐藤 盛
- S38 菅原 武郎
- S39 大宮 照夫
- S39 小湊 公二
- S39 佐藤 盛義
- S39 手嶋 健一
- S39 飯田 蔵
- S40 田中 宏
- S40 千葉 東
- S40 甕 正人
- S41 赤間 博
- S41 阿部 久一
- S41 荒木 博

- S51 元平 和弘
- S52 井上 昭則
- S52 黒田 俊宏
- S52 小池 俊朗
- S52 櫻井 俊明
- S52 中嶋 啓
- S53 青木 茂
- S53 青柳 勇
- S53 栗石 勝彦
- S54 砂金 博之
- S54 加藤 昭彦
- S54 小坂 卓哉
- S54 本城 浩
- S54 清野 尾俊宏
- S55 坂下 賢
- S55 佐藤 稔
- S55 鈴木 新一
- S55 寺沢 春彦
- S55 芳賀 浩一
- S55 留守 広行
- S55 渡邊 基史
- S56 佐々木 正明
- S56 武田 理
- S58 佐藤 敦
- S58 堀江 英昭
- S58 横山大二郎
- S59 上北 義一
- S59 杉山 靖司
- S60 砂金 英輝
- S61 東海 泰典
- S62 阿部 栄久郎
- S62 熊谷 淳
- S62 竹下 正浩
- S63 金平 正行
- S63 柴田 洋介
- H01 菊地 洋
- H01 松本 英樹
- H01 山根 裕喜
- H01 六郷 洋一
- H02 熊谷 俊幸
- H02 黒田 美穂
- H02 八重樫 徹
- H03 石ヶ森啓佳
- H03 関 万里
- H04 岡本 洋子
- H04 佐々木亜紀子
- H04 竹之内 淳
- H04 戸内 晴富
- H04 山田 利文
- H05 金子 尚照
- H05 鎌田 幸喜
- H05 菅井 清和
- H05 武山 隼人
- H05 千葉 勝敏
- H06 伊藤 伸夫
- H06 佐々 達郎
- H06 佐々木園枝
- H07 安藤 忠利
- H07 草野 理恵
- H07 齊藤進之介
- H07 高橋 秀樹
- H07 平野亜希子
- H08 石田 美聖
- H08 大又 正能
- H08 小野寺北斗
- H08 高橋 壮
- H08 徳能 常弘
- H08 南條 和志
- H08 二階堂恵子
- H08 畠山 康司
- H08 早坂 露子
- H09 秋葉 恭庸
- H09 齋藤 大
- H09 佐藤明日美
- H09 徳能 清司
- H09 畑中 美帆
- H09 平間 由美
- H10 荒 宣子
- H10 宇野 真紀
- H10 齋藤 陽子
- H10 佐藤 香江
- H10 白岩 康範

- H10 中村 由紀
- H11 岩崎 隆宏
- H11 岩間 美紀
- H11 勝田 敏之
- H11 岸 一行
- H11 今野 裕貴
- H11 鈴木 文章
- H11 高橋 健
- H11 武田 真理子
- H11 平塚 達夫
- H12 一宮 大輔
- H12 小笠原尚美
- H12 今野 敦子
- H12 佐々木千枝
- H12 佐々木 悠
- H12 清水 克規
- H12 田中 英莉
- H13 木村 彰子
- H13 工藤 裕平
- H13 庄司 裕信
- H13 鈴木 博人
- H13 畠山 真理子
- H14 新井 徹
- H14 小野 智春
- H14 佐藤 琢真
- H14 佐藤 貴博
- H14 鈴木 涼子
- H14 鈴木 寛孝
- H14 根本 元
- H14 芳賀 崇
- H14 柳沼 修司
- H14 山内 智弘
- H14 八巻 幸恵
- H14 渡辺 紘子
- H15 阿部 国博
- H15 今福 久美
- H15 大久保 亮
- H15 鹿野 紀子
- H15 鹿野 真実子
- H15 佐藤 秀美
- H16 梅津 大機
- H16 片宗 美子
- H16 川島 玲
- H16 代 瑞英
- H17 及川 和佳
- H17 平 春香
- H17 銘 和廣
- H17 築田 栄輝
- H17 吉原 英和
- H18 石濱 洋平
- H18 鹿野 知幸
- H18 鹿野 知幸
- H18 菅間 泰彦
- H18 櫻田 敬広
- H18 四戸 佑輔
- H18 本間 謙一
- H18 松岡 由芳
- H18 結城 亜美
- H19 岩瀬 雄大
- H19 北村 陸
- H19 後藤 仁美
- H19 齋藤 紘樹
- H19 齋藤 尚五
- H19 佐藤 英和
- H19 日野 夏希
- H19 三浦 裕仁
- H19 山家 雅仁
- H20 我孫子友宏
- H20 伊藤 楠菜
- H20 佐佐 志保
- H20 齋藤 彰啓
- H20 千葉 彩子
- H20 中野 亜衣
- H20 平澤 直人
- H21 阿部 慎一郎
- H21 伊藤 希
- H21 及川 詩織
- H21 鹿野 真嵩
- H21 丸藤 亜紀
- H21 小泉 聡美
- H21 佐藤 香江
- H21 信野 かなえ
- H21 梶田 瞳

## 春の甲子園大会 第95回選抜高校 野球大会 協賛金協力者 (R4.12.1~R5.4.30)

ご協賛者 256名  
ご協賛金 1,817,500円

- S12 村上 敬次
- S18 熱海 和作
- S19 三田村仁道
- S20 鈴木 康
- S23 小野 幸男
- S27 土田 亨
- S28 大友 孝夫
- S28 今野 仁
- S29 柳井 庸彦
- S30 小幡 卓雄
- S30 小畑 清嗣
- S30 齋藤 眞康
- S30 佐々木 巖
- S30 須藤 幸雄
- S30 沼澤 寛
- S30 平井 賢三
- S31 剣持 丈治
- S31 小林 美恵
- S31 庄子 正佑
- S31 東海林 重夫
- S32 安達 隆
- S32 金山 昭
- S33 佐藤 善信
- S33 鈴木 勝
- S33 水戸 武
- S33 村上 昇
- S34 阿久津英紀
- S34 角張 有孝
- S34 佐藤 勲
- S34 三浦 勝男
- S35 長田 文治
- S35 佐々木 敬
- S35 高須 彪
- S35 高橋 松力
- S35 村山 繁
- S36 安達 隆
- S36 藤村 武男
- S36 村上 光男
- S37 佐藤 靖夫
- S37 鈴木 茂
- S37 富田 義雄
- S37 森 保男
- S38 加藤 功一
- S38 佐々木俊一
- S38 佐藤 盛
- S38 菅原 武郎
- S39 大宮 照夫
- S39 小湊 公二
- S39 佐藤 盛義
- S39 手嶋 健一
- S39 飯田 蔵
- S40 田中 宏
- S40 千葉 東
- S40 甕 正人
- S41 赤間 博
- S41 阿部 久一
- S41 荒木 博

- H20 佐佐 志保
- H20 中野 亜衣
- H20 平澤 直人
- H21 阿部慎一郎
- H21 丸藤 亜紀
- H21 小泉 聡美
- H21 佐藤安香里
- H21 梶田 瞳
- H21 齋藤 大智
- H23 阿部 洋佑
- H23 小坂のぞみ
- H23 齋藤 智也
- H23 中山 哲太
- H24 佐藤 匠
- H24 高橋 郁香
- H24 高橋 賢二
- H24 馬場 雄一郎
- H25 平井 陽
- H27 赤間 悠貴
- H27 秋山 祐樹
- H27 菅野 寧々
- H27 坂野 眞衣
- H27 菊田 耕平
- H27 佐藤 翔
- H27 佐藤 高明
- H27 馬場 亮丞
- H27 平井 菊子
- H27 三上 葵
- H28 菊地 雄大
- H28 遠藤 篤利
- H29 大友 悠生
- H29 小林 有也
- H29 村上 英夫
- H29 村田 剛太
- H30 佐藤 隆明
- H30 菅原 健登
- H30 松井 峻
- H30 八城 綾
- H30 山内 茜
- H30 山田千妃呂
- H31 板倉 七海
- H31 今泉 敬洋
- H31 一条 天真
- H31 大槻 眞子
- H31 今野 光貴
- H31 齋藤 佑樹
- H31 笹間 克弥
- H31 白崎 千明
- H31 鈴木 悠翔
- H31 須田 倫弘
- H32 平野 萌子
- H32 安達 興我
- H32 跡邊 彩貴
- H32 池田 悠
- H32 伊村 亮太
- H32 黒田 悠来
- H32 後藤 佑輔
- H32 佐々木 木由
- H32 高田 ひな
- H32 秋山 俊
- H32 浅野 洗司
- H32 上原 海瑠
- H32 大山 晃児
- H32 小野天の介
- H32 杉浦 拓也
- H32 丸木 由紀
- H32 知宏
- H32 ヤマネツグミ
- H32 四本みなみ